

暑熱対策を始めましょう

気象庁によると、今夏（6～8月）の気温は例年並みから高いと予想されています。家畜は被毛（羽毛）がある上に、涼しい場所へ自由に移動できないことから、人以上に暑熱ストレスにさらされています。暑熱ストレスを感じた家畜は飼料摂取量の低下による増体の悪化に加え、受胎率や乳量の低下が見られます。また、鶏では産卵率が低下するなど、生産性が著しく低下します。

不快指数とは気温と湿度から計算される「蒸し暑さ」の指標です。ちなみに、熊本県における昨年6月の平均最高気温は28.4℃、平均相対湿度は74%であったことから、乳牛では**オレンジ：強いストレス**を感じていたことがわかります（図1）。

THI	湿度(%)															
	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95		
15	58.6	58.6	58.6	58.7	58.7	58.7	58.8	58.8	58.8	58.9	58.9	58.9	58.9	59.0		
16	59.7	59.8	59.8	59.9	60.0	60.1	60.2	60.2	60.3	60.4	60.5	60.6	60.6	60.7		
17	60.8	60.9	61.0	61.2	61.3	61.4	61.6	61.7	61.8	62.0	62.1	62.2	62.3	62.5		
18	61.9	62.1	62.2	62.4	62.6	62.8	63.0	63.1	63.3	63.5	63.7	63.9	64.0	64.2		
19	63.0	63.2	63.4	63.7	63.9	64.1	64.4	64.6	64.8	65.1	65.3	65.5	65.7	66.0		
20	64.1	64.4	64.6	64.9	65.2	65.5	65.8	66.0	66.3	66.6	66.9	67.2	67.4	67.7		
21	65.2	65.5	65.8	66.2	66.5	66.8	67.2	67.5	67.8	68.2	68.5	68.8	69.1	69.5		
22	66.3	66.7	67.0	67.4	67.8	68.2	68.6	68.9	69.3	69.7	70.1	70.5	70.8	71.2		
23	67.4	67.8	68.2	68.7	69.1	69.5	70.0	70.4	70.8	71.3	71.7	72.1	72.5	73.0		
24	68.5	69.0	69.4	69.9	70.4	70.9	71.4	71.8	72.3	72.8	73.3	73.8	74.2	74.7		
25	69.6	70.1	70.6	71.2	71.7	72.2	72.8	73.3	73.8	74.4	74.9	75.4	75.9	76.5		
26	70.7	71.3	71.8	72.4	73.0	73.6	74.2	74.7	75.3	75.9	76.5	77.1	77.6	78.2		
27	71.8	72.4	73.0	73.7	74.3	74.9	75.6	76.2	76.8	77.5	78.1	78.7	79.3	80.0		
28	72.9	73.6	74.2	74.9	75.6	76.3	77.0	77.6	78.3	79.0	79.7	80.4	81.0	81.7		
29	74.0	74.7	75.4	76.2	76.9	77.6	78.4	79.1	79.8	80.6	81.3	82.0	82.7	83.5		
30	75.1	75.9	76.6	77.4	78.2	79.0	79.8	80.5	81.3	82.1	82.9	83.7	84.4	85.2		
31	76.2	77.0	77.8	78.7	79.5	80.3	81.2	82.0	82.8	83.7	84.5	85.3	86.1	87.0		
32	77.3	78.2	79.0	79.9	80.8	81.7	82.6	83.4	84.3	85.2	86.1	87.0	87.8	88.7		
33	78.4	79.3	80.2	81.2	82.1	83.0	84.0	84.9	85.8	86.8	87.7	88.6	89.5	90.5		
34	79.5	80.5	81.4	82.4	83.4	84.4	85.4	86.3	87.3	88.3	89.3	90.3	91.2	92.2		
35	80.6	81.6	82.6	83.7	84.7	85.7	86.8	87.8	88.8	89.9	90.9	91.9	92.9	94.0		
36	81.7	82.8	83.8	84.9	86.0	87.1	88.2	89.2	90.3	91.4	92.5	93.6	94.6	95.7		
37	82.8	83.9	85.0	86.2	87.3	88.4	89.5	90.7	91.8	93.0	94.1	95.2	96.3	97.5		
38	83.9	85.1	86.2	87.4	88.6	89.8	91.0	92.1	93.3	94.5	95.7	96.9	98.0	99.2		

図1：乳牛における温度・湿度から求めた不快指数 出典：酪農ジャーナル
 <表色でのストレス強度 白：なし、黄：弱い、オレンジ：強い、赤：極めて強い>

家畜の暑熱ストレスを軽減するには、以下の対策が重要です。

1 牛体への送風

※体感温度：風速1m/秒⇒-6℃、風速2m/秒⇒-8℃、風速4m/秒⇒-12℃

※風速4m/秒：木の葉や小枝がたえず動き、旗が軽く開く程度

2 畜体への直射日光を避ける

3 畜舎の屋根を石灰等で白く塗る

4 清潔かつ冷たい水の不断給与

5 畜舎周囲や畜体への散水

※湿度の上昇、床面が滑りやすくなること、細菌の増殖に注意

6 ビタミン・ミネラル類の給与

人間が「暑い！」と感じる前に家畜に対する暑熱対策を早め実施することが、人や家畜の健康維持と生産性の向上につながります。

夏場の死亡牛レンダリング処理およびBSE検査の対応について

家畜の死体は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）において、産業廃棄物に定められており、適正に処理しなければなりません。死亡した家畜については、死亡獣畜処理場（（株）熊本蛋白ミール公社など）へ搬入し、適正な処理をお願いします。

夏場は死亡牛が腐敗しやすいため、熊本蛋白ミール公社及びBSE検査所では7～9月は下記の業務日程で対応します。

搬入された牛が腐敗していると判断された場合、月齢に関係なく一律に**腐敗牛処理料35,500円**が徴収される可能性があります。毎年夏場だけで約20頭が腐敗牛として処理されていますので、死亡牛が生じた場合は早期の搬入をお願いします。



(写真) 夏場に搬入された腐敗牛

夏期対応期間 令和2年（2020年）7月1日～9月30日

開場日

休業日

祝日を除く 月曜日～土曜日

毎週日曜日・祝日

開場時間

午前 8:30～11:30

午後 1:00～3:00

※7月24日(金)、9月22日(火)は祝日ですが開場します

※8月15日(土)はお盆休みです

(株) 蛋白ミール公社 TEL: 0968-26-3766

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性鳥インフルエンザ	H5N5	台湾(2件)	地鶏	令和2年(2020年)5月11日・18日
ASF		韓国(631件)	野生イノシシ	令和2年(2020年)5月1日～令和2年(2020年)5月31日

令和2年(2020年)6月1日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう!

